

目次

1.	電子入札環境の準備	2
1.1.	各機器の構成及びスペック	2
1.2.	パソコン、ネットワークの環境設定	2
1.3.	ICカードの取得先	3
2.	ICカードのセットアップ	3
3.	Java ポリシーの設定	3
4.	安全な通信を行うための証明書について	3
5.	電子入札対応のためのブラウザの設定	4
5.1.	Windows XP Service Pack2 および3、Windows Vista および Vista Service Pack 1 を導入した パソコンにおける電子入札対応のための設定	4
5.2.	Internet Explorer 7 に関する事象および対処法について	5
5.3.	Internet Explorer 8 および9 に関する事象および対処法について	7


1. 電子入札環境の準備

初めて電子入札へ参加する場合は、下記の仕様を参考にしてハードウェア、ソフトウェア、インターネット接続環境、ICカード（電子証明書）、ICカードリーダーを準備してください。

ご利用のICカードの認証局が推奨する環境条件も必ずご確認ください。

1.1. 各機器の構成及びスペック


電子入札はインターネットを利用して行います。スムーズに利用するために以下の環境設定が必要です。


ハードウェア 	Windows XP		Windows Vista, Windows 7
	CPU	Pentium III 800MHz 同等以上	
搭載メモリ	256MB 以上		1.0GB 以上
HDD	1ドライブの空きが、500MB 以上		1ドライブの空きが、1.0GB 以上
グラフィック プロセッサ	—		WDDM 対応グラフィックプロセッサ (VRAM 128MB 以上)
画面の解像度	XGA (1024 × 768ピクセル) 以上		
その他	ICカードリーダーライタが接続できること		


※環境の値については、おおよその目安です。ICカード発行会社の推奨環境についても確認下さい。

1.2. パソコン、ネットワークの環境設定

パソコン 設定	・Windows のログインユーザ名およびドメイン、ワークグループは半角英数であること
------------	---

ソフトウェア 	使用する OS やブラウザの組み合わせによって、準備する環境が異なります。電子入札 Web サイトの電子入札稼働環境のリンクから、稼働環境をご確認下さい。 なお、ご利用の認証局によっては更に細かな制限がある場合があります。必ずご利用の認証局の指定する環境等をご確認下さい。	
	電子入札用 ソフト	ICカードを電子入札システムで利用するために必要なソフトウェア (認証局から提供されます)
	その他	内訳書や文書の閲覧、編集用のワープロおよび表計算ソフトウェア (Microsoft Word 2003、Excel 2003 を推奨)

インターネット 接続環境 	回線速度	ブロードバンド（高速回線）を推奨します。
	接続環境	インターネット接続業者（プロバイダー）との契約を締結してください。 社内ネットワークからの接続の場合は、インターネットへの接続が許可されているかご確認ください。
	プロトコル	HTTP、HTTPS (SSL)、LDAP、SMTP のプロトコルを使用します。 ・使用できるプロトコルについてはプロバイダにお問い合わせください。 ・社内環境からの接続の場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

<p>ICカード</p> 	<p>ICカードはインターネット上の印鑑として使用します。ICカードによる電子署名は印鑑と同等の働きをします。</p> <p>各自治体が指定する者を名義人とする IC カードを、電子入札コアシステム対応認証局から取得してください（複数の認証局からひとつを選択して、そこから発行された電子証明書（有料）を購入することになります）。</p> <p>ICカードの取得には時間がかかる場合がありますので、早めにご準備ください。</p>
--	---

1.3. ICカードの取得先

ICカードは複数の民間認証局から発行されています。電子入札対応の IC カード発行会社については、「電子入札コアシステム開発コンソーシアム」が発表する「コアシステム対応認証局」を参照してください。

参照先 URL : <http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/index.html>

商業登記認証局の発行する電子証明書を格納した IC カードは利用できませんのでご注意ください。

2. ICカードのセットアップ

認証局から IC カード及び IC カードリーダー、電子入札対応ソフト等が届きましたら、付属のマニュアルを参照してパソコンにセットアップを行ってください。ご不明な点は認証局へお問合せください。

セットアップ手順は認証局によって異なりますが、概ね以下の手順で行います。

- (1) IC カードリーダー（ドライバー）のインストール
 - ・ IC カードリーダーとパソコンの仲介をするソフトウェアをインストールします。
- (2) Java 実行環境（JRE）のインストール
 - ・ 電子入札システムの実行に必要なソフトウェアをインストールします。
 - ・ 電子入札コアシステム対応認証局が推奨するバージョンをインストールしてください。
- (3) IC カード（ドライバー）のインストール
 - ・ IC カードリーダーと IC カードの仲介をするソフトウェアをインストールします。

1 台のパソコンに、複数の認証局の IC カードをインストールする事は避け、本電子入札システム専用パソコンをご用意ください。

3. Java ポリシーの設定

本電子入札システムをご利用の場合、国土交通省等ですでに電子入札を実施されている場合でも新たに、環境ファイル『java.policy』の更新を行う必要があります。

環境ファイル『java.policy』の更新を行うには『環境設定ツール』で行います。『環境設定ツール』は各認証局から、IC カードに添付、もしくは認証局のホームページよりダウンロードの形で提供されておりますので、ご利用の認証局へお問い合わせください。

『環境設定ツール』で設定する本電子入札システムの URL は下記の通りです。

<https://ebid.icals.jp/>

「http」ではなく、「https」と設定する必要がありますので注意してください。

この設定が正しくない場合には、電子入札システムを正常に起動することができません。

4. 安全な通信を行うための証明書について

本電子入札システムでは、標準で設定済みのサーバ証明を使用しますので利用者による設定は必要ありません。

5. 電子入札対応のためのブラウザの設定

5.1. Windows XP Service Pack2 および3、Windows Vista および Vista Service Pack 1を導入したパソコンにおける電子入札対応のための設定

(1) 電子入札システムへの影響と対応策

Windows XP Service Pack2 及び Service Pack3 (以降、Windows XP SP*と言う)、Windows Vista 及び Vista Service Pack1 (以降、Windows Vista SP1 と言う) を導入されたパソコンで、電子入札システムを運用する場合、Windows OS が持つ機能によって下記の影響が発生しますのでご注意ください。

【ポップアップブロック機能による影響】

電子入札システムの PIN 入力後、「サーバ通信中」のダイアログボックスが表示され続け、以降の処理を行うことが出来なくなります。

⇒「ポップアップブロック機能対応方法1」または「ポップアップブロック機能対応方法 2」により回避できます。

※注意 Yahoo ツールバー、Google ツールバー等のツールを個別にインストールしている場合、これらのツールバーにもポップアップブロック機能が存在するため、回避設定が必要となります。各ツールバーをお使いいただく場合は、ソフトの提供元へお問い合わせください。

【ダウンロード防止機能による影響】

提出済みの申請書等をダウンロードして保存する場合、サーバからのダウンロードが禁止され該当の申請書等を保存することができません。

⇒「ダウンロード防止機能対応方法」により回避できます。

以下の対処方法の手順では、Internet Explorer7 を例に取り説明いたします。

●ポップアップブロック機能対応方法1 (該当サイトの手入力による登録)

[インターネットオプション]の[プライバシー]タグにより該当サイトを登録しサイトのポップアップを許可します。手順は以下の通りです。

- ① Internet Explorer の[ツール(T)]より[インターネットオプション (O)]を選択
- ② インターネットオプション内[プライバシー]タグの下部[ポップアップブロック]の[設定(E)]をクリック
- ③ ポップアップブロックの設定内の[許可する Web サイトのアドレス(W)]に該当サイトアドレス「*.icals.jp」を入力し、[追加(A)]をクリックすることで[許可されたサイト(S)]に登録され、該当サイトのポップアップが許可されます。

- ポップアップブロック機能対応方法2（情報バーによる登録）
ポップアップブロックされたサイト上の[ポップアップ情報バー]にて該当サイトを直接許可します。手順は以下の通りです。
 - ① 画面上の[ポップアップ情報バー]をクリック
 - ② 画面上に表示されたメニューより[このサイトのポップアップを常に許可(A)]を選択
 - ③ このサイトのポップアップを許可しますか？ダイアログボックスにて[はい(Y)]を選択

- ダウンロード防止機能対応方法（該当サイトの手入力による登録）
[インターネットオプション]の[セキュリティ]タグから[信頼済みサイト]として登録しサイトを許可します。手順は以下の通りです。
 - ① Internet Explorer の[ツール(T)]より[インターネットオプション(O)]を選択
 - ② インターネットオプション内[セキュリティ]タグ内[信頼済みサイト]をクリックし、[サイト(S)] をクリック
 - ③ 信頼済みサイトの[この Web サイトをゾーンに追加する(D)]に登録するアドレス「https://ebid.icals.jp」を入力し、[追加(A)] をクリックすることで[Web サイト(W)]に登録され、ファイルのダウンロードが許可されます。

5.2. Internet Explorer 7に関する事象および対処法について

電子入札システムに使用する Internet Explorer 7（以下 IE7）のオプション設定等により以下の事象の発生が確認されました。その回避方法につき説明いたします。

項番	IE7 製品版で確認された事象	回避方法
【1】	添付ファイルを提出する際に従来の添付ファイルパスの指定では、ファイルパス情報を引き渡すことが出来ないため、添付ファイルを特定できない事象が発生する。	以下の2点を実施することにより回避可能。 ① 信頼済みサイトへ登録 ② ポップアップを許可するサイトへの登録
【2】	通信ダイアログを含む全ての画面にてアドレスバーが表示され、従来と違う画面となる。	以下の2点を実施することにより回避可能。 ① 信頼済みサイトへ登録 ② ポップアップを許可するサイトへの登録
【3】	ウィンドウタイトルに URL が表示される。	オプション内のセキュリティレベルの変更により回避可能。
【4】	ファイルのダウンロード時にブロックされる。	オプション内、セキュリティレベルの変更により回避可能。
【5】	提出された添付ファイルを保存する際に、一部の日本語ファイル名で文字化けが発生する。 (例) 「申」(0X905C) → 「神」(0x905F) 「表」(0X955C) → 「廟」(0x955F) 「ボ」(0X837C) → 「ダ」(0x835F)	WindowsUpdateにて、最新のセキュリティ更新プログラムを適用することにより回避可能。

以降、Windows Vista における画面にて説明いたします。

【1】添付ファイルを提出する際に従来の添付ファイルパスの指定では、ファイルパス情報を引き渡すことが出来ないため、添付ファイルを特定できない事象が発生する。

<回避策>

以下の2点を実施することにより回避可能です。

○信頼済みサイトへ登録

下記の「(1) 信頼済みサイトへの登録」を実施してください。

○ポップアップを許可するサイトへの登録

IE7 では信頼済みサイトにおける「ポップアップブロックの使用」オプションの既定値が「有効にする」に設定されていますので、下記の「(2) ポップアップを許可するサイトへの登録」の方法でポップアップブロックを許可するサイトを制限する必要があります。

(1) 信頼済みサイトへの登録

[インターネットオプション(0)]の[セキュリティ]タブから[信頼済みサイト]として登録し、サイトを許可する。

- ① Internet Explorer の[ツール(T)]より[インターネットオプション(0)]を選択
- ② インターネットオプション内[セキュリティ]タブ内[信頼済みサイト]をクリックし、[サイト(S)]をクリック
- ③ 信頼済みサイト登録の[この Web サイトをゾーンに追加する(D)]に該当サイトアドレス「https://ebid.icals.jp」を入力し、[追加(A)]をクリックすることで[Web サイト(W)]に該当サイトアドレスが登録され、ファイルのダウンロードが許可されます。

(2) ポップアップを許可するサイトへの登録

[インターネットオプション(0)]の[プライバシー]タブにあるポップアップブロックの設定により該当サイトを登録し、サイトのポップアップを許可する。

- ① Internet Explorer の[ツール(T)]より[インターネットオプション(0)]を選択
- ② インターネットオプション内[プライバシー]タブの下部にある[ポップアップブロック]の[設定(E)]をクリック
- ③ ポップアップブロックの設定により[許可する Web サイトのアドレス(W)]に該当サイトアドレス「*.icals.jp」を入力し、[追加(A)]をクリックすることで[許可されたサイト(S)]に該当サイトアドレスが登録され、該当サイトのポップアップが許可されます。

【2】通信ダイアログを含む全ての画面にてアドレスバーが表示され、従来と違う画面となる。

<回避策>

以下の2点を実施することにより回避可能です。

○信頼済みサイトへ登録

上記の「(1) 信頼済みサイトへの登録」を実施してください。

○ポップアップを許可するサイトへの登録

IE7 では信頼済みサイトにおける「ポップアップブロックの使用」オプションの既定値が「有効にする」に設定されていますので、上記の「(2) ポップアップを許可するサイトへの登録」の方法でポップアップブロックを許可するサイトを制限する必要があります。

【3】ウィンドウタイトルに URL が表示される。

ウィンドウタイトルに URL が表示された状態のままでも電子入札システムの換作は可能です。従来通りに URL を表示させない表示とする場合は次の回避策を実施します。

<回避策>

○オプション設定変更

「インターネットオプション(0)」内の「セキュリティ」タブ内「レベルのカスタマイズ(C)」、セキュリティ設

定一信頼されたゾーン画面にて、『サイズや位置の制限なしにスクリプトでウインドを開くことを許可する』項目を『有効にする』の設定に変更することで回避できます。

【4】ファイルのダウンロード時にブロックされる。

<回避策>

○オプション設定変更

「インターネットオプション(0)」内の「セキュリティ」タブ内「レベルのカスタマイズ(C)」、セキュリティ設定一信頼されたゾーン画面にて、『ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示』項目を『有効にする』の設定に変更することで回避できます。

【5】提出された添付ファイルを保存する際に、一部の日本語ファイル名で文字化けが発生する。

<現象>

ファイル保存時のダイアログにて、ファイル名の一部の日本語文字が文字化けして表示されます。この文字化けは、ファイル保存（名前を付けて保存）ダイアログ上、およびファイル保存後のファイル名の表示上の問題であり、データベースには正しい文字（添付ファイル提出時の文字）で登録されています。

ファイル名に、文字コード末尾が「～5C」「～7C」の日本語文字が含まれている場合、このファイルをダウンロード（保存）する際に、これらの文字の文字コード末尾が「～5F」に変換されるため、文字化けが発生します。

(例) 「申」(0x905C) → 「神」(0x905F)

「表」(0x955C) → 「廟」(0x955F)

「ポ」(0x837C) → 「ダ」(0x835F)

<回避策>

Windows Update にて、最新のセキュリティ更新プログラムを適用してください。

なお、具体的なセキュリティ更新プログラムはセキュリティパッチ「[MS07-045] Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム」となります。(最新のセキュリティ更新プログラムに含まれています) パッチの詳細につきましては、以下の HP を参照ください。

- ・[MS07-045] Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム

<http://support.microsoft.com/kb/937143>

また、上記パッチに含まれる文字化け事象の詳細につきましては、以下の HP をご確認ください。

- ・『Web ページからファイルをダウンロードするために Internet Explorer7 を使用する時、ファイルの名前が変更される』

<http://support.microsoft.com/kb/933133/>

以上の情報は、「電子入札コアシステム開発コンソーシアム」のサイトより引用しています。

詳細内容が必要な場合には下記サイトをご覧ください。

<http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/index.html>

5.3. Internet Explorer 8 および 9 に関する事象および対処法について

電子入札システムに使用する Internet Explorer 8（以下 IE8）のオプション設定等により以下の事象の発生が確認されました。その回避方法につき説明いたします。

項番	IE8 で確認された事象	対処方法
【1】	画面遷移時にスクリプトエラーが発生する場合があります	セキュリティパッチ「[MS09-019] Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム」を適用する。
【2】	添付ファイルを提出する際にファイルパス情報が消失し提出できない	以下のいずれかにより回避可能。 ① Windows XP SP2 対応としてアナウンスしている「信頼済みサイトへの登録」を行う ② オプション設定変更
【3】	画面が崩れて表示される場合がある	以下のいずれかにより回避可能。 ① オプション設定変更 ② コアシステムの Web サイトを互換表示対象の Web サイトに登録する

また、Internet Explorer 7 (以下 IE7) 使用時に発生しうる事象のうち、一部事象に関しては、IE8 においても発生します。事象の詳細及び対処方法は IE7 の場合と共通です。当資料「5.2. Internet Explorer 7に関する事象および対処法について」をご参照ください。

【1】画面遷移時にスクリプトエラーが発生する場合がある

<回避策>

Windows Update にてセキュリティパッチ「[MS09-019] Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム」を適用することで、本事象が回避されることを確認しております。

セキュリティパッチの詳細につきましては、以下のHPを参照ください。

- ・[MS09-019] Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム

<http://support.microsoft.com/kb/969897>

【2】添付ファイルを提出する際にファイルパス情報が消失し提出できない

<回避策>

以下の2点を実施することにより回避可能です。

○信頼済みサイトへ登録

下記の「(1) 信頼済みサイトへの登録」を実施してください。

○ポップアップを許可するサイトへの登録

IE8 では信頼済みサイトにおける「ポップアップブロックの使用」オプションの既定値が「有効にする」に設定されていますので、下記の「(2) ポップアップを許可するサイトへの登録」の方法でポップアップブロックを許可するサイトを制限する必要があります。

(1) 信頼済みサイトへの登録

[インターネットオプション(0)]の[セキュリティ]タブから[信頼済みサイト]として登録し、サイトを許可する。

- ① Internet Explorer の[ツール(T)]より[インターネットオプション(0)]を選択
- ② インターネットオプション内[セキュリティ]タブ内[信頼済みサイト]をクリックし、[サイト(S)]をクリック
- ③ 信頼済みサイト登録の[この Web サイトをゾーンに追加する(D)]に該当サイトアドレス「<https://ebid.icals.jp>」を入力し、[追加(A)]をクリックすることで[Web サイト(W)]に該当サイトアドレスが登録され、ファイルのダウンロードが許可されます。

(2) ポップアップを許可するサイトへの登録

[インターネットオプション(0)]の[プライバシー]タブにあるポップアップブロックの設定により該当サイトを登録し、サイトのポップアップを許可する。

- ① Internet Explorer の[ツール(T)]より[インターネットオプション(O)]を選択
- ② インターネットオプション内[プライバシー]タブの下部にある[ポップアップブロック]の[設定(E)]をクリック
- ③ ポップアップブロックの設定により[許可する Web サイトのアドレス(W)]に該当サイトアドレス「*.icals.jp」を入力し、[追加(A)]をクリックすることで[許可されたサイト(S)]に該当サイトアドレスが登録され、該当サイトのポップアップが許可されます。

【3】画面が崩れて表示される場合がある

<回避策>

以下の方法により回避可能です。

○オプション設定変更

Internet Explorer の[ツール(T)]より[「互換表示設定(B)」]の設定画面にて「互換表示ですべての Web サイトを表示する(E)」のチェックを ON にすることで回避できます。

(注意)

本設定はコアシステム以外の Web サイトに対しても有効となります。

以上の情報は、「電子入札コアシステム開発コンソーシアム」から提供される情報より引用しています。

「※ご注意」

本マニュアルは、2013年7月現在で作成しております。最新の情報は、各自治体の電子入札ホームページ、電子入札コアシステムサービスセンター、JACIC およびご利用中の IC カード発行認証局から随時リリースされておりますので、定期的に最新の情報の有無をご確認ください。

なお、本「事前設定マニュアル」記載の内容に加え、各自治体の Web サイトも併せてご参照ください。